

「令和４年度 袋井市議会報告会」の実施結果

1 概要

一般市民「事前申込者」対象の議会報告会（意見交換会）「フッピートーク2022～袋井市議会議員とまちづくりを語ろう～」を袋井市議会基本条例第10条に基づき、開催した。

【袋井市議会基本条例第10条】

議会は、議会の活動状況を市民に報告するとともに、市政の諸課題に対処するため、市民及び議員が意見及び情報を交換する議会報告会を開催するものとする。

2 開催場所、日時、参加者

- (1) 日 時 令和４年10月30日（日）午後１時30分から午後３時30分まで
- (2) 開催場所 袋井市教育会館４階 大会議室
- (3) 参加者 市議会議員 20人、一般市民（事前申込者） 46人 合計 66人

3 実施内容

(1) 令和４年度の袋井市議会報告

- ア 各議員の資質向上に向けた、「議員研修の充実に関して」
- イ 市民に、より開かれた議会を目指した、「議会報告会及び議会の意見交換会に関して」
- ウ 政策提案型の議会を、「常任委員会の所管事務調査に関して」
- エ 更なる議会の活性化を実現する、「議会活性化特別委員会に設置に関して」

(2) テーマ別グループトーク（意見交換）

各テーマ各３グループ（合計９グループ）に分かれて、参加者からテーマについて「袋井市の良いところ」「課題」「課題に対しての『提案』」の意見をいただいた。

- テーマ１ 市内コミュニティセンターとまちづくり協議会の活動に関して
- テーマ２ 市内子育て環境の充実に関して
- テーマ３ 市内産業の活性化に関して

4 アンケート結果及び意見聴取結果

別紙のとおり

5 総括

平成30年度以来4年ぶりに一般市民対象の議会報告会（意見交換会）を開催した。

別紙のアンケート結果により、参加者からは議会報告の内容が「わかりやすかった」が23人/43人（53.5%）、意見交換（グループワーク）に参加して「よかった」が37人/43人（86%）との回答を得られたことは、議会報告会（意見交換会）としての役割を概ね果たせたものと考えられる。

しかしながら、議員の資質についてのご意見もいただいているため、自己研鑽に努めていく。

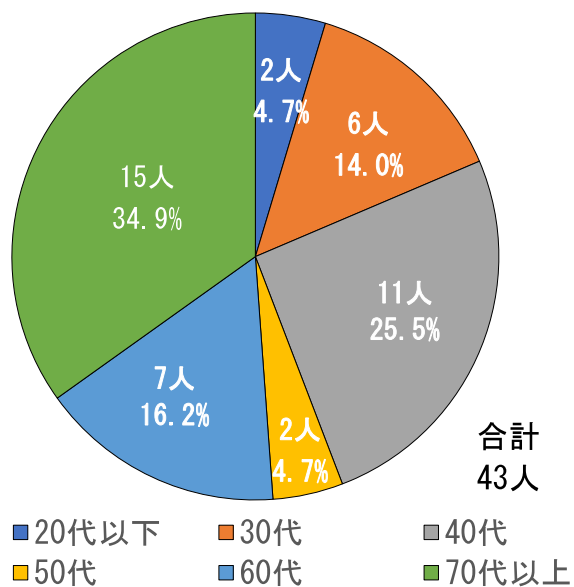
また、参加者から出た意見は、本年度に各常任委員会で実施していた所管事務調査の提言の参考にできた。

令和5年度以降の議会報告会（意見交換会）については、令和5年度に設置予定の広報広聴委員会で開催時期、方法等を検討する。

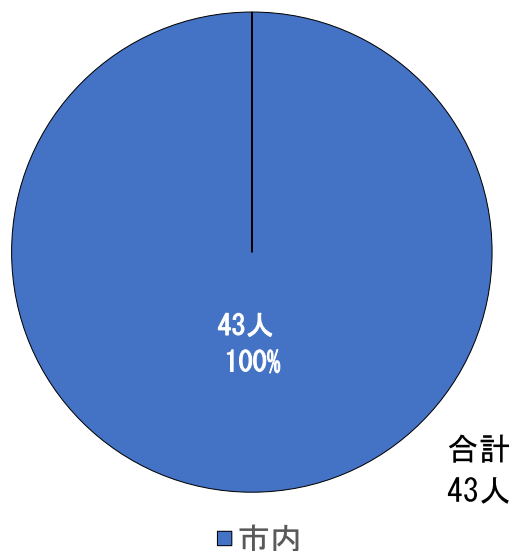
令和4年10月30日開催

「フッピートーク2022～議員とまちづくりを語ろう～」アンケート結果
【参加者46人中43人（93.5%）が回答】

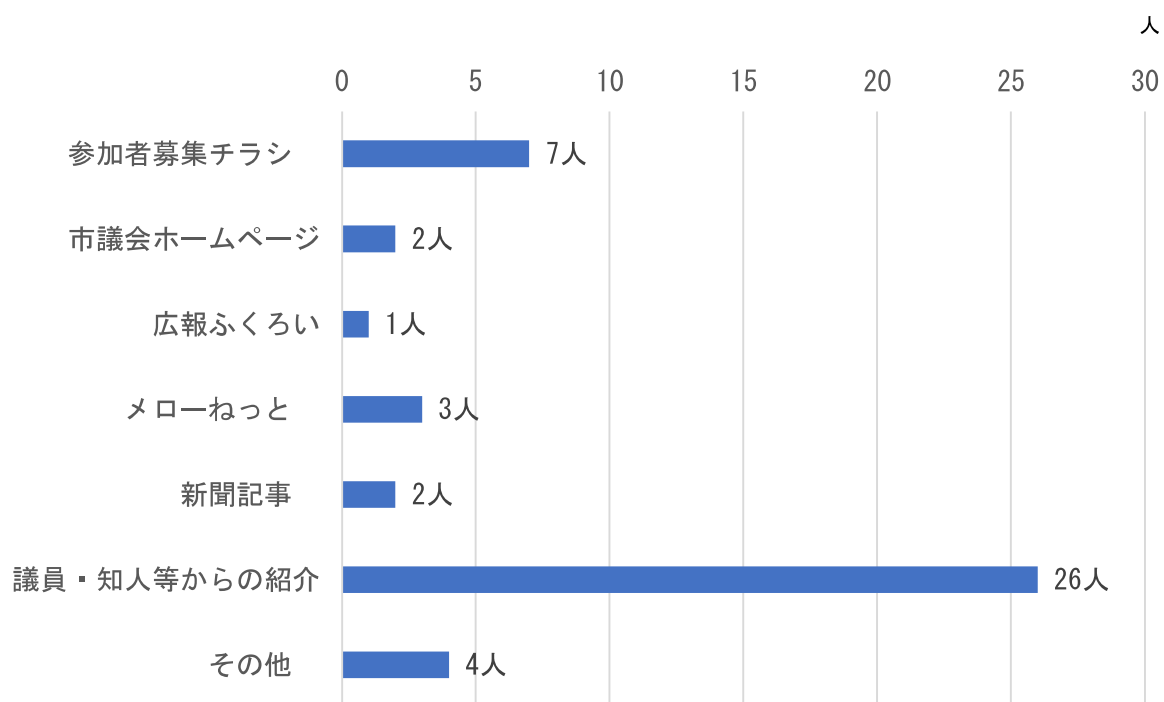
問1 あなたの年齢は。



問2 あなたのお住まいは。

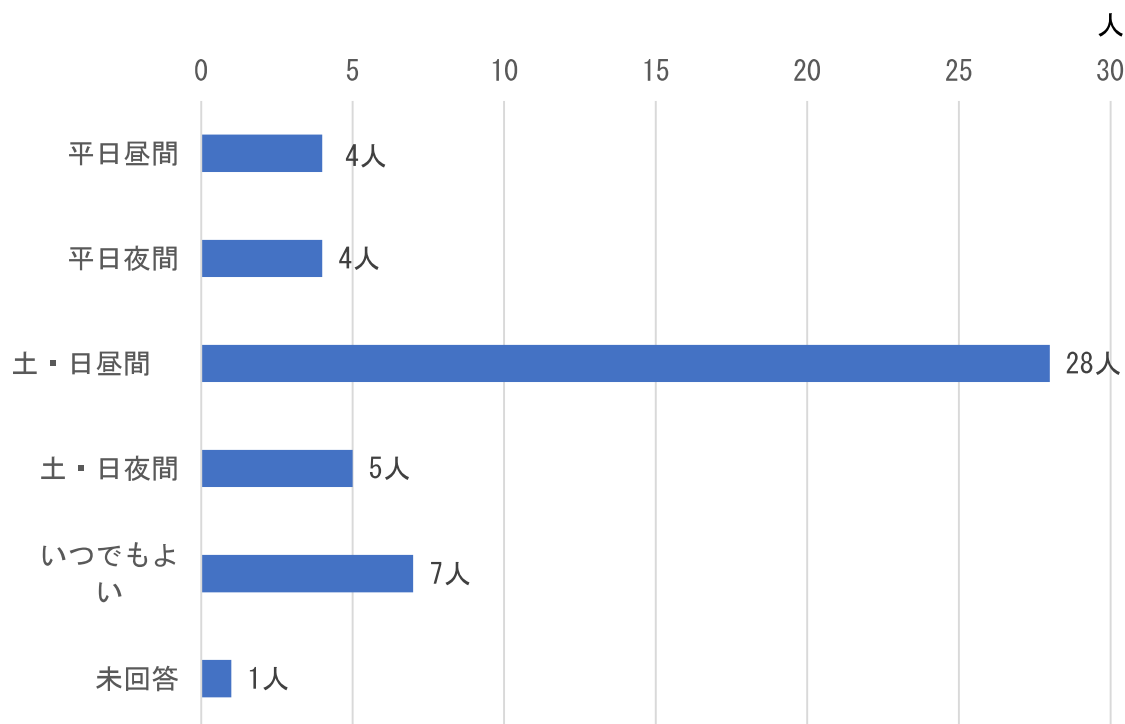


問3 今回の議会報告会（意見交換会）を何でお知りになりましたか。【複数回答あり】

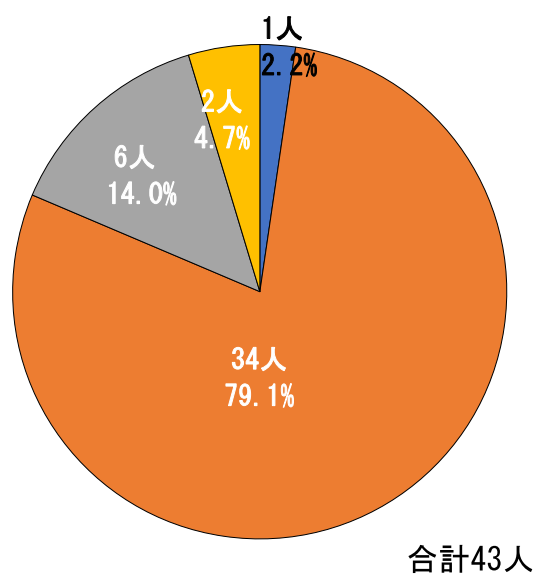


問4 今回の議会報告会（意見交換会）をどのようにお感じになりましたか。

(1) 開催日程（時間帯）は、いつがよいと思いますか。【複数回答あり】

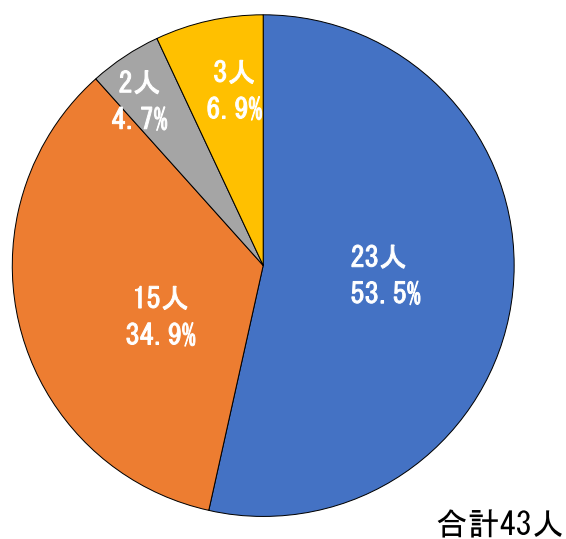


(2) 開催時間は、いかがでしたか。



■ 長かった
■ ちょうどよかった
■ 短かった
■ 未回答

(3) 議会報告の内容は、いかがでしたか。



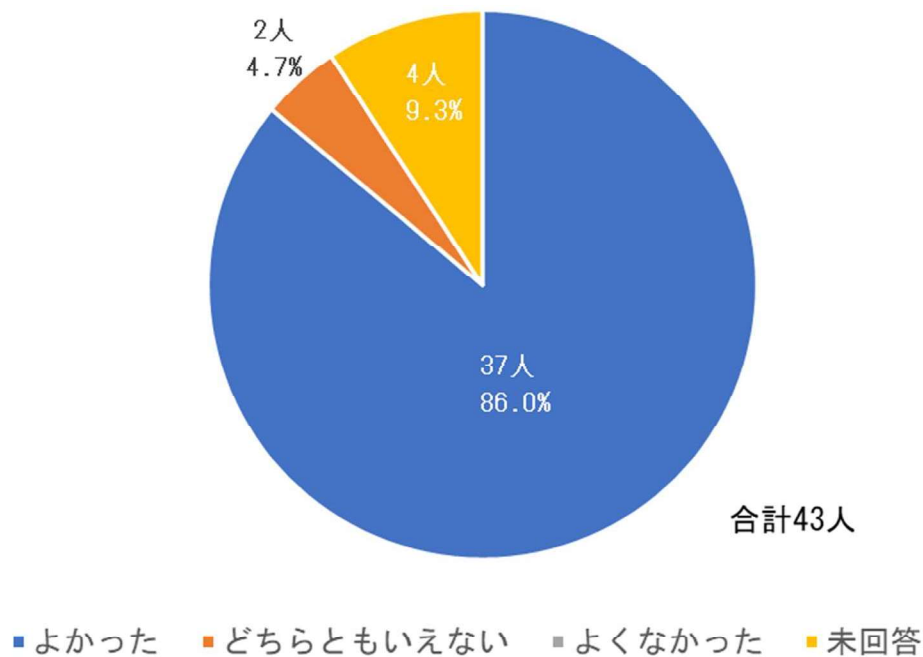
■ わかりやすかった
■ どちらともいえない
■ わかりにくかった
■ 未回答

議会報告のわかりにくかった点、見直した方がよい点を教えてください。

【原文そのまま】

- ・ 「市への提案」について、出させて、聞いただけで終わらないでほしい。どれも大切な課題と思いますが、特に足の確保（タクシーを利用活用しやすいあり方を考えてほしい。）高齢者、足の不自由な方々の社会参加をしやすいように。
- ・ 大変いい取り組みだと思います。議員の皆さんが市民の声を聞くというのは基本中の基本だと思います。ぜひ今後も続けてほしいと思います。
- ・ 重要課題、市民の関心高いであろう課題（例えば、防災、財政・・・）について言及ない。議会の事情での報告はイマイチ。
- ・ やった事を全部報告するのではなく、例えば1項目の詳細を報告するようにした方がよい。
- ・ 時間をかけてやってほしい。
- ・ もっと具体的な内容だとありがたかったです。
- ・ 短い時間でやむを得ないことだと思うが、機会をふやす等して欲しい。
- ・ 全般的な課題ではなく、しぼりこんだ方が意見をだしやすい。
- ・ 貴重なこれらの意見を議員はいかしてほしい。特に課題を議員は検討してほしい。
- ・ 市民の意見を取り入れる試みが実施されていて良かった。
- ・ 議員定数の協議は、はっきり方向性を言ってほしかった。増やしたいのか、減らしたいのかははっきりしない。
- ・ 資料以外の事を知りたかった。
- ・ 皆の意見が聞けて良かったです。現在の課題など。
- ・ 初対面では、良くディスカッションできたと思います。（司会者の力量もありますが。）初めの挨拶は手短に、時間が短いのです。
- ・ 報告は短め、あるいはカットで、トークの時間を増やす方が一般市民（特に若い世代、子育て世代）には、参加しやすいかと思いました。
- ・ 時間が決まっているのもあるが、もう少し詳しい内容を聞きたかった。
- ・ 成果などがわかると良かったと思いました。例えば実施した意見交換会で出た意見がどのように市政につながったなどがあるとよいと思いました。
- ・ スライドも遠くの人にも見えるようにした方がよい。
- ・ 受講した議員の感想を聞きたい。

(4) 意見交換（グループワーク）に参加していかがでしたか。



意見交換（グループワーク）のよくなかった点、見直した方がよい点を教えてください。

【原文そのまま】

- ・ 知らない事を教えてもらえた。
- ・ 時間が足りなかった。もう少し長くてもよかった。
- ・ 絞り込んで深掘りしてはどうでしょうか。
- ・ 皆様のお考えを聞くことができました。
- ・ 言いたいことが言える雰囲気よかった。
- ・ いろんな具体的な意見がきけた。「あっ、いっしょだ」と納得できることが多い。
- ・ 他の職種、違う年代の意見を聞けてよかった。
- ・ 同じ意見をもって方向性をとる事ができた。
- ・ 担当についてくれた議員さんが色々と分かっていなかった。もう少し知識や理解をしてから来てほしかった。
- ・ グループに高校生がおり、とても良い刺激となりました。中学、高校などに、もっと周知し、参加があればもっと盛り上がると思いました。
- ・ 語って終わらず、議会で政策提言の一助として欲しい。
- ・ メンバーの知識の差等で議論がかみ合わないことが多かった。レベルをある程度そろえたメンバーでグループができるとよい。

- ・ 「（仮称）あそびの杜の方向性について」のトークができると聞いて参加したが、トークテーマに行き着く時間があまりなかった。立てたテーマに早く行き着くには、もっとテーマをしぼってトークした方がよかったかと思う。
- ・ 様々な意見を出すことができ、時間も十分にあって良かった。
- ・ 時間が短い。

(5) 議会報告及び意見交換の内容について、御質問がありましたら御記入ください。

【原文のまま】

- ・ 袋井市議会議員とまちづくりを語ろう「フッピートーク 2022」お疲れ様でした。意見交換の場を設けて頂き、ありがとうございました。
- ・ このグループにわかれてでた課題について、どの様に解決できる方法をおしえてほしい。
- ・ 本当に子育てなどの知識や理解を議員さんが分かっているのか？年齢的にも子育てとはなれている人が多いので。浅羽支所の施設の内容を誰が決めていくのか？
- ・ 今回出た意見をホームページに載せ、広報活動に活かしてほしい。
- ・ 一朝一夕ではおられない事案が多く、複数回の語ろう会をしてほしい。
- ・ 若者の参加を見込める様なシンプルな課題にできますか。
- ・ 今回のフッピートークで出た課題やテーマについての議員さんからのコメントをホームページに掲載してほしい。（掲載したら公式LINE等で情報を流してほしい。来年度フッピートークを開催する時にR4年度フッピートークで出た提案とその後の進展を報告してほしい。

問5 袋井市議会に対する御意見、御要望等がありましたら、御記入ください。

【原文のまま】

- ・ 生活にたくさん反映できていただけたらうれしいです。
- ・ ありがとうございました。
- ・ 補助金事業の問題点について
- ・ グループワークをしていると自身の意見や考えを伝えきれなかった方が多かったです。今後、その意見を聞けるような機会や窓口を設けて頂ければと思います。
- ・ 「議会として当局に対して政策提案型で対峙できる」となっているが、議員としての役割と議会の役割を分けて考えるべきではないか。

- ・ 大変だと思いますが、がんばって下さい。
- ・ 市民の意見を聞き、改めていく事が議員の役目。
- ・ 市民との交流の場作りをたくさん実施してほしい。
- ・ 広報活動にもっと力を入れることが重要だと思った。
- ・ フッピートークのフッピーって？市のマスコットのふくろうの名前かな？家康君やシッペイ君なら名が知られているけど・・・。
- ・ 市議1人1人で担当をもち、本当の実態調査をしてほしい。
- ・ 議員の皆さんも研修等で大変ですね。市民の意見を聞くことは大切です。このような討論は必要です。今度も開催してもらいたい。テーマもいろいろ変化をもたせてほしい。
- ・ 地元に根付いた政策をおねがいしたい。高齢者問題、次世代の自治会への参加。
又、小中高一貫教育のますますの充実をおねがいしたい。
- ・ まちづくり協議会に進んで参加し、共に活動して欲しい。
- ・ 「（仮称）あそびの杜」の方向性についての議論（一般市民の声の吸い上げ）が今回では不十分。改めて機会を作ってほしい。児童館については目的を整理し、それに見合った規模感（資金の使途）や人材確保を考えてほしい。児童教育と児童の遊びについての専門性を持った人材を登用してほしい。
- ・ このような場を作っていただき、ありがとうございます。今日出た意見が実際に反映していくと、より暮らしやすい良いところになると思いました。
- ・ 議員の声を聞きたい。

フッピートーク2022で出された意見のまとめ（意見聴取より抜粋）

総務委員会（グループ1～3） 参加人数 議員：7人 市民：17人
テーマ：市内コミュニティセンターとまちづくり協議会の活動に関して

【意見交換を通じた今後の主な提案】

- ・ 地域の担い手や運営メンバーの中で、20代から40代の若い世代の参加を促す必要がある。募集や参加方法も含め内部での協議、または市からのアドバイスや指導が必要だと感じる。
- ・ より情報発信をしていく必要がある。従来のホームページやコミセン便りに加え、LINEやSNS等の活用も手段として有効と考える。
- ・ コミセンへの徒歩以外の交通手段が脆弱であることから、足の確保策が必要である。

【意見交換会にて市民よりいただいた、現状の良いところ】

コミュニティセンターの役割として

- ・ 地域のまとまりに欠かせない組織である。
- ・ 健康増進等の社会活動が盛んであり、さまざまな活動の幅が広がった。
- ・ 組織が明確化され、そこに基づいた役割分担がなされている。

コミュニティセンター機能に関して

- ・ 職員の対応が親切で丁寧である。
- ・ イベントの開催が増え、各団体の参加もオープンに広がった。
- ・ 広域活動が増えている。

まちづくり協議会に関して

- ・ まちづくり協議会の理念や目的が明確化され、組織的な運営がされている。
- ・ 住民主体のまちづくり活動ができるようになった。
- ・ 防災活動に関して親和性が高く、多くの情報交換ができています。

【課題】

コミュニティセンター

- ・ 地域住民への情報発信をより強化する必要がある。
- ・ 既存の事業と新規の事業を行うバランスが難しい。
- ・ 徒歩や自転車以外の交通手段がない。

まちづくり協議会

- ・ 地域住民への情報発信をより強化する必要がある。
- ・ 担い手の不足、人材の掘り起こしに課題を感じる。
- ・ 自治会連合会組織との兼務のため、役職者は多忙である。

フピートーク2022で出された意見のまとめ（意見聴取より抜粋）

民生文教委員会（グループ4～6） 参加人数 議員：7人 市民：14人
テーマ：市内子育て環境の充実について

【意見交換を通じた今後の主な提案】

- ・ 出産手当や医療費の無償化等、子育てにかかる支援の充実が人口減対策には重要である。
- ・ 相談対応のワンストップ化や、ガイドブックの発行等の相談体制と情報提供機会の充実が必要である。
- ・ あそびの杜の整備に関連し、室内遊具の充実や多世代の子供が利用できる施設にしていきたい。
- ・ J R通学の解消や保護者の負担の割合を減らす取り組みをすべきである。
- ・ 支援学級やインクルーシブ教育への取り組みへ、学校ごとの仕組みにするのではなく、教育部局として抜本的な制度設計が必要だと感じる。
- ・ 公立学童保育が中心であることから、今後の学童保育経営に関して意見交換をすべきである。
- ・ 病後児保育を小学生低年齢まで拡大できないか。

【意見交換会にて市民よりいただいた、現状の良いところ】

- ・ 自然豊かな子育て環境である。
- ・ 子ども医療費が充実しており、負担が少ない。
- ・ こども園の充実に伴い、保育所待機児童がゼロになった。
- ・ 合計特殊出生率が高い。（多子世帯が多い）
- ・ 市民と議員との距離が近い。

【課題】

（子育て全体に関して）

- ・ 子育て世代の流出と出生数の低下による人口減少が始まっている。
- ・ 子育てに関して、どこに相談していいのかわからない。また、気軽に相談できる仕組みやサポートが少ない。（支援センターの対応、オンライン相談、週末相談等）
- ・ 小学生以上が時間を過ごす児童館施設がない。
- ・ 学童保育の充実が求められる。民間参入のあり方も含めて、今後議論をすべきである。
- ・ 病後児保育が少ない。
- ・ 電車で通学している児童や家庭の負担がある。

（療育支援に関して）

- ・ 学校における先生がたの療育に関する知識や経験が不足していると感じる。
- ・ インクルーシブ教育への取り組みが少ないと感じる。

フッピートーク2022で出された意見のまとめ（意見聴取より抜粋）

建設経済委員会（グループ7～9） 参加人数 議員：6人 市民：15人
テーマ：市内産業の活性化に関して

【意見交換を通じた今後の主な提案】

（農業）

- ・ 持続可能な農業のあり方を今後も農業者と意見交換すべきである。
- ・ 若手・女性農業者と協力し、新しい担い手と連携した情報発信をすべきである。
- ・ 農業法人等の誘致を検討し、耕作放棄地対策をする。
- ・ 再生可能エネルギーを活用し、環境に配慮した低コストの生産体制を目指すべきである。
- ・ 古くなった用排水の整備や、既存インフラの更新が必要である。

（その他）

- ・ 袋井市の魅力発信が、人口減少対策や観光施策につながる。
- ・ 空き家を活用した新たな店舗誘致や企業オフィス化等の政策が必要である。
- ・ 近隣市町を見た中で、補聴器への助成制度を検討すべきである。

【意見交換会にて市民よりいただいた、現状の良いところ】

- ・ クラウンメロンの品質が世界有数である。
- ・ 農業・商業・工業のバランスが良い。
- ・ 水田センサー等のICT農業に力を入れている。
- ・ 雄大な海岸や、遠州三山、花火大会等の観光資源に恵まれている。
- ・ 新旧東名等の交通網により、物流会社にとっては利点が多い。
- ・ 草木のリサイクル等、環境事業に前向きである。

【課題】

（農業）

- ・ 耕作放棄地が増えている。背景には、新規就農者の不足や、既存の作物に頼りすぎている面がある。
- ・ 有害鳥獣被害が多い。また、有害鳥獣をとっても解体及び処理する施設がない。
- ・ 他の農産品やブランドとの差別化や情報発信が足らず、稼げる農業モデルになっていない。

（他の産業）

- ・ 全体的な袋井市の知名度やイメージ戦略が足りないのではないか。
- ・ 加齢性難聴への補助が不十分である。
- ・ ゴミ減量等の環境へ配慮した産業の育成が必要である。
- ・ 更なる企業誘致が必要である。

全体を通じた考察

今回約４年ぶりに一般市民を対象とした意見交換会を開催した中で、アンケートをいただいた「議会報告」及び「意見交換会」に関して一定の評価はいただけたと感じている。また、市民参加の意見交換会に関しても、開催の需要は非常に高いというアンケート結果となった。

いただいた市政へのご意見に関しては引き続き、常任委員会から市政への提言書及び各議員からの一般質問や委員会ですたしていく必要があるものの、多くの課題や提言が「担い手や人材の不足」、「情報発信の強化」、「行政による支援」に大別されると感じた。多くのいただいた意見が市政に反映されることを市議会としても今後も取り組んでいく必要性を感じている。

最後に、「議員との距離が近い」という意見が２グループの中で出されたが本年度の常任委員会が数回に渡りおこなった意見交換会の成果だと感じている。次年度以降も年に数回の意見交換会の開催が袋井市議会がより開かれた議会になるために、有効であると感じた。